

山梨大学 留学生 センターニュース

no.5
OCT
2008

留学生センターの役割 —国際交流の更なる深化—

山梨大学理事（教学担当）・副学長 黒澤 幸昭

留学生センターは設立以来6年目に入り、その活動もますます充実してきています。留学生への日本語教育では、二つの研修コース以外にも留学生の日本語レベルに合うよう、科目を細分化して増やしたほかに、補講では時間帯を工夫し、研究者や学生の家族の皆さんも受け入れています。また、留学生への指導・相談についても、勉学・研究から生活一般、経済問題や対人関係、健康面と幅広い支援を行っています。さらに進路や就職の相談・支援をキャリアセンターと協力しながら進めているところです。この様なセンターの活動に併せて大学も留学生への経済的な支援や緊急時の支援について積極的にサポートする体制を作ってきました。さらに近々予定されている寮などの改修や新築の際に留学生用の枠を確保することを検討しています。



また、今年度から教育人間科学部で始まった「日本語教員養成コース」に留学生センターも協力しています。この領域を専門とするセンターの教員も協力することにより、国際的な視野と日本語教育の基礎知識をもった人材の育成が可能となるとともに、本学学生に日本語教員を新たな就職の選択肢として提案できることを期待しています。

海外の提携校からの交換留学生の受入れについては、センターの力を中心に順調に充実してきていますが、本学から派遣する学生の育成についてはさらなる努力が必要であると感じています。昨年度、留学を希望する学生を対象に語学科目を新設しましたが、経験豊富なセンターの先生方のお知恵を拝借しつつ海外へ雄飛する学生をより多く輩出できるようさらに工夫してゆきたいと考えています。

本学の留学生受入数は、今年度は若干減少しました。しかし、日本全体としては、2020年に向けて「留学生30万人計画」も策定されており、本学においても受入数の回復・増大は必定でありますので、留学生センターの役割は学内においても地域においてもますます重要になると考えられます。大学も留学生センターをサポートしつつ協力して国際交流の発展に尽力して参ります。

留学生関連の実施諸行事とニュース (2008年度前期)

ホーム・ステイ / ホーム・ビジット (6月28日～29日)

今学期のホーム・ステイ/ホーム・ビジットは、留学生にとっては、大学生活が落ち着き、試験もない時期だったということで、実施時期としては概ね好評でした。しかし、季節は梅雨の真っ只中。当日はあいにくの雨模様となってしまいましたが、富士五湖の方までドライブに連れて行ってもらったり、お宅で家庭料理をご馳走になったり、ホストファミリーのお子さんと遊んだり、日本の家庭や文化等に触れる貴重な体験となったようです。また、ホストファミリーの方々におきましても、留学生との楽しい交流の一時を過ごしていただいたと思います。お世話になったお礼を心より申し上げます。

実地見学旅行 (8月7日～8日)

昨年度に引き続き今年度の実地見学旅行も、人気の高い京都へ。立秋とは名ばかりの炎暑をおしての旅程でしたが、一日目は清水寺、南禅寺、二条城、二日目は金閣寺、天龍寺の見学と、保津川の川下りを楽しみました。ただ、せっかくの京都旅行なのだからと、少々詰め込みすぎた感があり、一つ一つの見学が急ぎ足となってしまいましたが、学生たちは旅の記念にと夢中で写真を撮っていました。



第10回たべもの異文化交流会 (8月19日)

「食を通してそれぞれの異文化への理解を深めよう！」中央市、医学部共催の地域交流イベント「たべもの異文化交流会」は、今年で10回目を迎え、医学部キャンパス国際交流会館において盛大に行われました。

今年も中央市の方々が日本料理を用意してくださり、留学生はそれぞれの母国料理を用意し、紹介してくれました。約200人の参加があり、「これは何？どうやってつくるの？」と地域の方々と留学生の会話も弾み、大正琴の演奏や餅つき、スイカ割り、花火も一緒に楽しみました。

珍しい料理を食べることができただけでなく、留学生と地域の人々が交流を深めることのできた1日でした。



日本文化・山梨文化体験講座 (前期分)

留学生センターでは毎年、日本文化・山梨文化を体験する機会を設けています。国際交流・異文化理解のために、留学生のみならず日本人学生にも参加を呼びかけて行っています。

- 信玄公祭り 4月5日
甲府といえば武田信玄。留学生も着物や鎧を身につけ、時代行列に参加しました。
- 和紙漉き 5月31日
身延町「なかとみ和紙の里」にて和紙を漉き、タペストリーやランプシェードを作成しました。
- 桃狩り 7月5日
旬のおいしい桃が食べ放題！40分間で9個も平らげた大食漢もいました。
- 華道体験 7月8日
本学華道部の協力による生け花の体験は、今回で3回目になります。今回は、トクサ、カーネーションなどを用いて行いました。
- 歌舞伎鑑賞 7月18日
山梨県立県民文化ホールで行われた松竹大歌舞伎を見学に行きました。歌舞伎は初体験の学生も多く、その迫力と華やかさに圧倒されていました。



留学生センターの取り組み

日本語・日本事情教育

■ 学部留学生対象 日本語・日本事情教育

学部留学生を対象とする日本語授業は、前年度に引き続き「初中級」「中級」「中上級」「上級」「日本語演習」クラスが開講されています。また、日本人学生とともに日本の文化や社会についての理解を深める「日本事情」、異文化の理解と尊重を目標にした「異文化間コミュニケーション」の授業も開講されています。

■ 日本語補講

本学に在籍し、日本語を学びたい留学生および研究生等を対象に、日本語補講クラスが開講されています。入門レベルから論文作成レベルまで幅広いクラスがあり、場所も甲府キャンパスと医学部キャンパスの両方で提供されています。

留学生指導相談・文化交流

「留学生相談室」は、留学生のための相談室です。また、留学生支援をしてくれるチューターをはじめ、留学生と関わる日本人学生の相談にも応じています。

また、卒業・修了後、日本での就職を希望する留学生に対し、就職相談も行っています。5月19日には、留学生のための就職ガイダンスを開き、進路支援室・キャリアセンターの方より、日本での就職活動の流れやキャリアセンターの利用法などについて話してもらいました。

留学生と日本人学生がお昼を食べながらおしゃべりを楽しむ「ランチ会」も、今秋から7期目に入ります。交流の一つの接点として、今後も多くの学生の参加を期待しています。

日本語研修コース

2008年度前期も集中的に日本語を学ぶ研修コースIを開講しました。これは、本来大学院進学を目指す国費留学生が研究生活を円滑に行なうために基礎日本語を学ぶコースですが、2008年度前期は提携校からの交換留学生も迎え5名の受講生が積極的に参加しました。

暑さも厳しい8月1日、その15週間の成果を発表するプレゼンテーションが黒澤副学長、そして指導教員の先生方、留学生センター教員を前に披露されました。旅の思い出や自分の趣味を題材にするもの、また日本でよく見かける自動販売機についての洞察力の鋭い調査研究もあり、興味深い発表ばかりでした。先生方から出される質問にも15週の間に学んだ文法や語彙を使い活発に答える受講生の姿がとても印象的でした。今後のコースでは、これらの素晴らしい発表をもう少し多くの方々に聞いていただくように工夫ができればと考えています。

修了した皆さん、それぞれの分野での活躍を応援しています！



学生の声

山梨大学への留学 — 甲府物語 —

ドゥニ・タヤンディエ Denis Taillandier
フランス リヨン第三大学より、山梨大学に1年交換留学

光陰矢の如し。甲府に来てからもう1年経った。

中央線の電車に乗って、甲府駅に着いた。国際交流室の牧元さんが迎えに来てくださった。ほかにもう一人の学生がいた。僕のチューターである尚美ちゃんだと聞かされた。「よろしくお願いします。」ハンバーガーショップでコーヒーを一緒に飲みながら、甲府市、山梨大学、寮のことなど、いろいろなことを説明してくれた。心が和んだ。幸先がいい。留学は楽しいものになるなあと感じた。

その後、車で国際交流会館（留学生の寮）まで連れて行ってもらった。フランスから来た僕には、まさに環境の変化だと感じた。居心地が良かった。牧元さんの車がブジョーだったからかもしれない。やがて緑に囲まれた寮が目に入ってきた。入り口の脇には畑もある。空気がうまい。何人かの留学生と挨拶した後、部屋に入り、やっとゆっくり身を落ち着けることができた…。

あれからもう一年経ったんだな。実感はまだ湧いていないけれど。

楽しい時間は、たちまち終わりを迎えてしまう。楽しいからといって楽ではなかった。勤勉さなくして、目標を達成することはできない。授業のレベルは高かった。でも、息抜きのために先生方が文化体験や見学旅行などいろいろ提供してくれるから大丈夫。東京に住んでいたときほどではないけれど、居酒屋やカラオケなどに出かける機会も多かった。

忘れられない思い出を数多く心に刻んだ。（痛い思い出も体に刻んだけど…自転車に乗るときは注意しなければならない。油断大敵！）

全てを語り尽くすことはできないが、山梨大学での留学生活は、すばらしい体験だった。

最後に、先生方と、国際交流室の皆様へ。困ったときも、問題が起きたときも、疑問があるときも、いつも面倒を見てくださり、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



現在、本学と大学・部局間交流協定を結んでいる大学は約30校あります。そのなかで交換留学を実施しているのは、上記のドゥニさんの出身大学で、教育人間科学部の提携校であるリヨン第三大学、次のページの唐木さんが1年留学をしているシドニー工科大学のほかに、英国オックスフォード・ブルックス大学、米国イースタン・ケンタッキー大学、そしてドイツのドレスデン工科大学があります。

留学を考えている皆さん、まずは国際交流室（055-220-8373）または留学生センター奥村（055-220-8152）へ相談にいらしてください。留学までに準備することは山ほどあります。英語の試験や、書類の準備などに平均で約一年かかりますので、留学を思い立ったら気軽にご相談ください。

これら1年の短期留学の他に、夏季英語研修（米国イースタン・ケンタッキー大学と英国オックスフォード・ブルックス大学にて）と春季英語研修（カナダ プリティッシュコロンビア大学にて）もあります。



海外留学を 少しでも考えているみなさんへ

教育人間科学部 国際共生社会課程 国際文化コース 3年 唐木 麻衣

G' DAY, MATE!!

2008年2月からオーストラリアのシドニー工科大学 (University of Technology, Sydney, UTS) へ交換留学をしています。



右から3番目が唐木さん

オーストラリアは一言でいうとMULTICULTURAL NATION（多文化国家）。多くの国からの移民がそれぞれの文化を保ちながら生活しています。オーストラリアはもちろん、それ以外のいろいろな文化に関するイベントが開かれるため、さまざまな価値観や文化・習慣を学ぶ機会も多くあります。

UTSは留学生の為にサポートシステムがしっかりしているのが特徴です。例を挙げると、TANDEMというプログラムでは、在学生在がパートナーになって私たち交換留学生の面倒を見てくれ、また週に1度留学生と現地の学生が集まってコーヒーを飲みながらおしゃべりをす

るという素敵なパーティもあります。ほぼ無料でカフェの飲み物が飲めるので、私たち留学生にとっては一石二鳥のイベントです。

さて、留学をする上で皆さんに覚えておいて頂きたい大切なことのひとつは、「留学は海外に行ってから始まるものではない」ということです。今、この瞬間からもう始まっているのです。留学したいな、と思っただけで早いうちに英語の勉強を始めたり、英語試験TOEFLもしくはIELTSを受けてみたり、留学希望の大学について調べてみたり、なにか一歩を踏み出してください。留学をしたいという気持ちがあっても、なにも行動しなければつかめるはずのチャンスもつかめません。動いてみて分かることもきっとあるはずです。例えばTOEFL、IELTS試験を受けるためには試験の数カ月前に申し込みをしなければなりません。海外留学の申し込み期間までまだある、なんて思っているうちに時は過ぎてしまいます。実際私は、留学は英語テストさえ要求される点数を取ればあとは大丈夫だ、と思っていました。しかし、VISA申請、健康診断、住居の確保、荷作りなどなど、留学前にしなければならないことはたくさんあり、私は留学直前まであたふたしてしまい、多くの人に迷惑をかけてしまいました。

また目標を設定することも大切なことです。留学をする理由、目的はひとりひとり違いますが、その目標に向かってなにをやったか、なにを学んだかという過程は、かけがえのない財産になると思います。

分からないことがあれば国際交流室のスタッフや留学生センターの先生方にどんどん尋ねましょう。何年も大学の交換留学に携わっているので親身なアドバイスがもらえます。

10ヶ月は長いようでとても短いです。だからこそ、実のある日々を送れるよう、自分のやりたいこと以上のことができるように、今のうちから準備を始めてほしいと思います。

私もこちらで友達、先生、ホストファミリー、素敵な人たちとの残された日々を自分の目標に向かって濃く過ごしていきたいと思っています。

Whatever you want to do, you can achieve !!! All the best !!!

留学生 センター 教員



センター長
奥村 圭子
甲府キャンパスY-204
kokumura@
yamanashi.ac.jp
055-220-8152



高田谷 久美子
医学部看護学科教育棟8607
kumikot@
yamanashi.ac.jp
055-273-8289



仲本 康一郎
甲府キャンパスK-411
knakamoto@
yamanashi.ac.jp
055-220-8272



伊藤 孝恵
甲府キャンパスY-305
takaei@
yamanashi.ac.jp
055-220-8753



江崎 哲也
甲府キャンパスY-210
esakit@
yamanashi.ac.jp
055-220-8752

2008年度(平成20年度) 後期 日本語関連授業時間割

	月	火	水	木	金
I 8:45~ 10:15		日本事情Ⅱ(伊藤)		初中級ⅡB(江崎)	
II 10:30~ 12:00	初中級ⅡA(奥村) 上級Ⅱ(仲本) 研修Ⅰ(井上)	研修Ⅰ(下平) 研修Ⅱ(二宮)	中級ⅡA(仲本) 研修Ⅱ(岡部)	研修Ⅰ(奥村) 研修Ⅱ(伊藤) OH(江崎)	研修Ⅰ(江崎)
III 13:00~ 14:30	研修Ⅰ(井上) 研修Ⅱ(奥村) OH(仲本)	研修Ⅰ(下平) 研修Ⅱ(二宮)	研修Ⅱ(岡部)	研修Ⅰ(奥村) 研修Ⅱ(伊藤)	中級ⅡB(伊藤) 研修Ⅰ(江崎)
IV 14:45~ 16:15	研修Ⅰ(井上) 研修Ⅱ(長阪) OH(奥村)	研修Ⅰ(江崎) OH(高田谷) OH(伊藤)		研修Ⅰ(奥村) OH(伊藤)	研修Ⅰ(江崎) OH(伊藤)
V 16:30~ 18:00	甲府・補講(井上) 甲府・補講(長阪)	異文化B(奥村) 中上級Ⅱ(江崎)	甲府・補講(岡部)		
VI 18:15~ 19:45			医学部・補講(二宮) 18:00~19:30		医学部・補講(二宮) 18:00~19:30
VII以降	医学部・補講(高田谷) 19:00~20:30		医学部・補講(二宮) 19:30~21:00		医学部・補講(二宮) 19:30~21:00

OH: オフィス・アワー

山梨大学留学生センター

〒400-8510 甲府市武田4-4-37
TEL 055-220-8047/8373
E-MAIL yu-study-abroad@yamanashi.ac.jp

山梨大学 留学生センターニュース
2008年10月 発行